

病院も
買い物も
たいへん!

駅や市役所にも
行けない

公共交通の予算を増やして デマンドタクシーで 市民の足を確保します



いつでも気軽に外出できることは何よりも、市民の健康とまちのにぎわい、活力を促すこととなります。高齢化や人口減少の中、市民の足を守るのは行政の責務と位置付けて、行政サービスを行うことが求められています。

党議員団は、全国で取り組まれている「デマンドタクシー」を繰り返し求めてきました。一体、どんな制度なのか・・・、その概要をお知らせします。ご意見をお寄せください。

「デマンドタクシー」って・・・?

「デマンド」とは要望という意味。「デマンドタクシー」は、「要望をかなえるタクシー」という意味です。

地域の生活交通を維持するため、自治体がタクシー事業者と連携して、路線・ダイヤを定めず、利用者のニーズに応じて、運行ルートや乗降場所を設定するなどできる、乗合型の運送です。

利用の方法は・・・?

▼タクシーを利用したい人が、あらかじめ希望の時間、乗降場所を事業者に伝えます。別の場所を希望する人と、ルートが同じなら乗合にして運行します。

▼乗降場所は、地域住民、事業者、行政が意見を出し合い協議して何カ所か決めます。

例えば、埼玉県東松山市の場合、駅、バス停、公共機関、病院、金融機関、福祉施設など約500カ所が登録されていて、市内のほとんどの場所に行くことができます。

▼料金は、自治体によって異なります。

例えば、茨城県神栖市の場合、大人300円、小人150円（3歳以下は無料）、チケット制（6枚綴りの回数券）など。

栃木県小山市では、さらに、65歳以上、小学生以下、障害者は200円としています。

事業費はどれくらい・・・?

栃木県小山市（人口約17万人）では、赤字で廃止する路線も出てくる中で、市は、一部の路線をコミュニティバスとして運行。郊外の地域を5エリアに分けて、デマンドバス・タクシーを運行。今年度の地域交通の予算は、1億4千万円。うち、デマンドバス・タクシーの補助金は3千万円です。

全国の10〜20万人都市のバス運行補助の予算は平均で1億円を超えています。市の今年度の「地域公共交通活

性化事業費（バス運行）」はわずか365万円です。これでは市民の願いに応えられません。

市の財政力からみても、地域交通の予算を増やすことは充分可能です。

一緒に実現しましょう!

